



1. MSLC は、優しさ・笑顔・努力を大事にする学びの空間です。
2. MSLC は、学生の数理能力の向上と自主学習の促進を目的とした学習支援機関です。
3. MSLC ピア・チューターは、寄り添う学習支援を心がけ、向上心を持ち、自己実現を目指します。

2020年の後期のMSLC利用状況のまとめ

1. 学科別・学年別利用状況 (9/30~2/5) (延べ人数)

	1年次	2年次	3年次	4年次	その他	合計
国際学群	452	31	34	2	16	535
スポーツ健康学科	24	9	0	1	1	35
看護学科	3	0	26	0	0	29
合計	479	40	60	3	17	599

2. 目的別利用状況(延べ数)

解答・チューター	501
自習	29
講座	76
本	1
PC	3
その他	4
合計	614

◆2020年度後期MSLCプロジェクト発表会を終えて

MSLCの発表会は、チューターにとって学期末試験の忙しい中での準備・開催でしたが、終了後のコメントから、達成感とチューターとしてのやりがいを感じていることが伝わってきました。紹介「チューターをやって良かったこと」

1年次: 新垣 寧、佐竹彩音、瑞慶山まなか、張楽凡、李筱曼

- ・プレゼン能力やコミュニケーション能力が向上したこと。
チューターが喜んでいる姿が見られること。
- ・チューターに分かりやすいと言われた喜びと、チューターが解けるようになった達成感を共に感じる事が出来たこと。また、自分の数学の知識の向上につながったこと。
- ・チュータリングで、達成感を感じることができた。

2年次: 糸数勇利、片山裕基、叶 健人、

芝 穂香、松田 慶、三浦諒太

- ・数学や統計学の理解を深めることができた。
- ・教え方の工夫などを学び教え方やピアチュータリングの効果など看護にも活かせるようなことを多く学んだ。
- ・コミュニケーション力や説明力が向上した。
- ・組織のマネジメントや、自分自身のタイムマネジメント力がついた。
- ・自身で物事を判断して行動する能力がついた。

3年次: 田中里奈、西 晃人、杜 銀偉

- ・コミュニケーションスキルが上がった。
- ・助け合い(持ちつ持たれつ)の精神が身についた。
- ・Wordのレジュメやパワポ作りが上手くなった。
- ・基本的な技術面での能力も向上し成長した。



進路について考えよう!

~公務員試験合格者の体験談から学ぶ~

講師 ◆藤生 莉奈 さん: 市役所 (一般事務)

(国際学群4年次 観光産業専攻)

◆内田 大貴 さん: 警察官

(国際学群4年次 語学専攻)

去る2月3日(水)、2名の公務員試験の合格者を招いて、「進路について考える勉強会」を開催しました。期末試験期間中でしたが、「自分の専攻で迷っている。公務員試験対策講座を実施しているものの公務員試験は、他にどのような勉強をしたらいいのかわからない。合格した先輩の話を知りたい。」等の声を受け、先輩が卒業する前と思い、急遽、本勉強会を企画しました。キャリア支援課に内定が決まった学生を紹介してもらいました。1年次の参加も多く、有意義な勉強会となりました。(参加者 15名:1年7名,2年3名,3年5名)



学群、スポ健、看護の1年次から3年次までの学生が参加してくれました。感想を寄せてくださった皆さんありがとうございます。自分の進路を考える上で貴重な体験を聞く会となったことが分かりました。

次頁に参加者の感想を掲載しております。

～ 公務員試験合格者の体験談を聞いて(感想) ～



写真 質疑・応答の様子

★今まで行政のことばかり調べていて、公安の方の話聞くのは初めてでした。市役所に受かった方もスポーツからの試験だと、初めて知る公務員試験の内容がとても多かったです。今回お2人のお話を聞いて、やはり公務員試験は長期戦だと改めて感じました。一次、二次があるのはもちろんですが、合否を待つ時間、最終的に合格が決まる時期、とても根気がいると思いました。先輩の生の声を聞くことができよかったです！ 進路計画をしっかりと練ろうと思えました。(国際学群3年次)

★今回、公務員試験合格者の体験談を聞いて参考になったことが多くあった。特に、面接で「公務員と民間の違い」について聞かれることは初めて知り、今から自分なりの答えを準備していきたいと感じた。また、「わからないことは人に聞いた方がいい」という点は数的判断などはMSLCを活用していきたいと感じた。私的にはボランティアなどを先輩方が挙げていて、自分の強みをつくろうと思うきっかけにもなりました！体験談聞いて本当に良かったです！！

(看護学科3年次)

★私は公務員志望ではないのですが、自分の就職活動にも活かすことができるようなお話を聞くことができ、とても貴重な時間でした。(国際学群1年次)

★今回の講話会では、公務員試験に合格した先輩からどのような方法で試験対策をしたのか、また、合格に至るまでのさまざまな経験が聞けた。

例えば、早い段階から筆記試験対策を始め、苦手科目や出題範囲が多い分野に時間を割くと良いということがわかった。また、大学のキャリア支援課で受けたサポートや数理支援センターでのチューター経験がとても役に立ったということも言っていた。

そして、公務員試験は民間の就職活動より内定がもらえるのが遅いなどメンタル面でも大変な部分があると言っていて、改めて公務員試験合格の難しさが理解できた。今回参加して聞いたことをこれからの試験対策に生かしていきたい。(国際学群1年次)

★合格者の声を聞いて、1番役にたったことは、勉強資料についてです。実際に合格したお二人が全く同じ教材を使っていたということが、説得力があり使ってみようと思いました。また、2人とも応用問題はそこまでを手をつけていないということでした。基礎をしっかりと固めることが重要なのだと感じました。貴重なお時間をありがとうございました。(スポーツ健康学科1年次)

★今回おふたりの話をきいて、ボランティア活動の経験が今後の人生に大きく関わってくるのだと感じました。また、公務員試験の勉強についておすすめの参考書や解き方も知ることができたので良かったです。そして、大学の先輩という身近な人の体験談を生で聞くことができたのは自分にとって大きな励みと糧になりました。(国際学群3年次)

★民間への就職はもちろんですが、公務員試験への対策は早めに取り組むのが重要だということが分かりました。お二人が仰っていたテキストも気になったので見てみようと思います。期末試験中ということもありますが、体験談を聞くことはとても貴重なことなので、もっと多くの人に、特に1・2年生に聞いてもらえたらいいなと思いました。(国際学群3年次)

★公務員採用試験の場合、面接官へ「なるほど」と思わせる「物語」を用意しておく必要があると思いました。例えば福岡県などの都会ですと、在日外国人の実数は多くなります。この点に注目して在日外国人の抱えている問題を調べると効果的かと思いました。語学教育科目専攻の学生ならば、この問題を包括的に取り組むために、教職員ではなく行政事務を選んだという方向性で説明すれば、説得力がある受け答えになると考えました。加えて、理想としてヘルサボのような行政との連携したボランティア活動をしていればさらに説得力があると思いました。この取り組みは、面接官も是非聞いてみたい内容だと思いますので、話が弾むのかと思います。【試験等の対策について】人に勉強をはじめとした相談・係わるのが極端に苦手な人は、過酷すぎる道のりかと思った。学習習慣をどのようにつくったか、そしてどのように継続していったかについて興味があった。後、佐藤優『悪魔の勉強術』も参考になることが多いと思いました。SPI・教養試験の数学分野を攻略しないと面接にたどり着けないと見なした方がいいからです。上記を踏まえながら今回の合格体験談を聴くと、より参考になりました。

<https://www.youtube.com/watch?v=hXqQLIGJAiQ> これは私が名桜大学に入学する前に聴いたものです。(国際学群1年次)